

2022年度 第6定例理事会抄録

日時： 2023年2月18日（土）13:01～17:56

方法： Zoom システムによる Web 会議

出席： 中村（会長）、香山、山本、宮口（副会長）、宇田、大庭、関本、三澤（一）、
村井（常務理事）、池田、岡本（佳）、梶原、小林、佐藤、高島（千）、竹中、
谷川、東（理事）、岩瀬、長尾（哲）（監事）

陪席： 太田、藤田（委員長）、長尾（徹）（副会長）、長井（担当）、宮井、岩花、遠藤（千）、
庄司、杉田、高島（紀）、茂木、谷津、和久（事務局）、森田（在宅ケアもの・こと・
思い研究所）、安藤（辻・本郷税理士法人）

I. 報告事項

1. 議事録

- 1) 2022年度第5回定例理事会（12月17日） 書面報告
- 2) 2022年度第9回常務理事会（12月17日） 書面報告
- 3) 2022年度第10回常務理事会（1月21日） 書面報告

2. 会長専決事項

1) 正会員の入退会について（香山副会長・事務局長） 1月7日承認分として、会員資格喪失後の入会希望が5名、死亡退会が3名。2月4日承認分として、会員資格喪失後の入会希望が8名であった。

2) 2023年度正会員休会の承認について 書面報告

3) 永年会員の申請について（香山副会長・事務局長） 2023年1月31日までに、2023年度からの永年会員として49名の正会員から申請があり、適合審査を行った結果、44名を永年会員として承認した。

4) 事務局職員の採用について 書面報告

5) 専門作業療法士制度に係る大学院との連携：単位認定再審査結果について 書面報告

6) 2023年度海外研修助成制度審査結果及び補助対象候補者の推薦について 書面報告

3. 総務関連

1) 前回総会時の質疑「システムの経済的損失について」への回答について（香山副会

長・事務局長) 昨年7月の理事会で審議いただいた回答案に審議内容を反映させた回答書を作成し、質問者に回答した。

2) 2023年度定時社員総会議案書について(経過報告) 書面報告

3) 2023年度の理事会等会議開催日程(案)について(香山副会長・事務局長) 三役会、理事会、常務理事会の日程(案)を作成した。

4) システム開発の進捗状況について(香山副会長・事務局長、宮井事務長) システムのインフラ部分の見積もりが提出された。2024年4月にリリースしたい。

4. 財務関連

1) 2022年度第3四半期の収支状況について(含「月別入会者数」、「決算予測」) 書面報告

5. 学術関連

1) 第56回日本作業療法学会の報告について(香山副会長・事務局長、長尾(徹)副学会長) 9月16日から18日までは現地開催及び一部ライブ配信、9月19日から10月30日まではオンデマンドで配信し、総計3,079名が参加した。PCOへの委託費用は、契約の一部不履行により運營業務総額の10%が値引きとなった。

2) 第57回日本作業療法学会のプログラムと趣意書について(長尾(徹)副学会長) 本年11月に沖縄での現地開催とオンデマンド配信予定の第57回日本作業療法学会のプログラムと趣意書を作成した。

6. 教育関連

1) 新生涯学修制度検討状況報告 書面報告

2) LPC「がんリハ研修」「リンパ浮腫研修」運営委員選出の依頼について 書面報告

7. 制度対策関連

1) 次期国民健康づくり運動プラン(令和6年度開始)への要望書提出について(香山副会長・事務局長) 次期国民健康づくり運動プランから精神医療やメンタルヘルスにかかわる記述が削除されていた件について、関連職種から要望を行った結果、多くが取り入れられた。

8. 広報関連

1) 協会Webサイトのアクセスログ(2022年12月期・2023年1月期) 書面報告

9. 国際関連

1) WFOT 声明文(Diploma Level 作業療法教育の移行)の発表について(大庭常務理

事・国際部長) 先月、WFOT は、世界の OT 教育を学士レベル以上にしていくという声明を発表した。

2) APOTC における佐藤剛記念アワード推薦について (大庭常務理事・国際部長) 佐藤剛記念アワードの推薦の規定が変更され、これまでは自薦と他薦が認められていたところ、各協会からの推薦のみとなった。

3) APOTRG 執行部オンライン会議の報告 書面報告

4) トルコ作業療法協会への見舞メールと返信内容 書面報告

10. 女性会員参画促進事業関連

1) 2021~2022 年度女性会員の参画促進事業の総括について (宇田常務理事・女性会員の参画促進事業担当) 事業が終了し、総括を行った。

11. 組織率対策関連

1) 組織率対策関連の事業について (山本副会長・組織率向上対策担当) 組織率対策委員会の方向についての概要図を作成した。また、協会への入会促進のため、協会を紹介し、入会方法を収録した動画を作成する。

12. 活動報告

1) 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告 書面報告

2) 渉外活動報告 書面報告

3) 他組織・団体等の協会代表委員 (2023 年 2 月三役会までに追加・変更・継続等の連絡があったもの) 書面報告

4) 協会各部署の 2022 年 12 月期・2023 年 1 月期活動報告 書面報告

5) 日本作業療法士連盟活動報告 書面報告

6) 訪問リハビリテーション振興財団/訪問リハビリテーション振興委員会報告 書面報告

13. その他

1) チーム医療推進協議会令和 5・6 年度役員選挙への立候補について (中村会長) 本会からは、小林理事と山本副会長を推薦する。 →承認

2) 作業療法士等の登録済証明書の取り扱いについて 書面報告

II. 決議事項

1. 2023 年度予算案及び積立金について (香山副会長・事務局長、岡本 (佳) 理事・事務局

次長（財務担当） 2022年度の決算額について、会計事務所から一定程度の現金が残る見通しであるとの報告を受けたため、2023年度決算時に積み立てを予定していた60周年記念事業経費500万円とAPOTC負担金500万円について今年度決算時に積み立てを行い、同等の金額を事業全体に振り分ける。以下2点について承認願いたい。

- 1) 60周年記念事業及びAPOTC負担金計1,000万円の積み立てについて →承認
- 2) 2023年度予算案について →承認

2. 2023年度からの協会組織体制について

1) 事務局の新体制について（香山副会長・事務局長） 2018年以来、協会の組織体制について検討してきた。最終的な取りまとめとして、協会全体の組織構造図と事務局の組織図を、事務局長直属の事業統括・戦略担当と組織率対策担当を置くことを含めて承認願いたい。 →承認

2) 事務局管理職の人事および事務局員の配置（職員の雇用、会員の委嘱）について（香山副会長・事務局長）

1) 事務局管理職人事の基本方針として、「理事と事務局管理職との分離」を目標とし、それを達成するために①現有職員を管理職に登用、または②外部から管理職を新たに雇用することとし、①②で埋まらない間は平理事が管理職を兼務することを経過措置とすることについて承認願いたい。 →承認

2) 2023年度の事務局長・部長・室長人事について、①事務局長は2023年度中に就任予定、②総務部長は現事務長を任命する、③上記以外の部長・室長は役員改選後の定例理事会で平理事の中から任命する。 →承認

3. 2023年度定時社員総会の開催方法について（香山副会長・事務局長、長井事務局総会議事運営担当、宮井事務長） 5月27日に開催予定の定時社員総会はハイブリッド参加型バーチャル総会とし、オンラインでは視聴のみ、質疑応答なしとする。会場は日経ホールとし、出席を控える要請は行わない。定時総会閉会后に懇談会を開催する。 →承認

4. 社員の資格喪失とその対応について（香山副会長・事務局長） 社員（代議員）が当年度会費未納のまま年度末を迎えて資格を喪失した場合、特例再入会を行っても社員資格は復活しないこととする。 →承認

5. 重点課題研修「運転と地域での移動手段に関する研修会」への受講証明書デザイン案及び「運転と地域移動支援実践者」の認定証発行に関する制度案について（三澤（一）常務理事・教育部長、竹中理事・運転と作業療法特設委員会担当、藤田運転と作業療法特設委

員長) 受講証明書と認定証のデザイン案、資格名称(名称案:運転と地域移動支援実践者)、規程・細則・申請書等及び会員への案内文について承認願いたい。 →承認

6. 諸規程の整備について

1) 研究倫理審査委員会規程(改定案)(宮口副会長・研究倫理審査委員長) 倫理審査委員会の設置されていない施設に勤務する会員や他職種等に向けて設置する研究倫理審査委員会の規約について、現状の流れを勘案して改定案を策定した。 →一部修正を前提として承認

2) 表彰審査会規程(改定案)(山本副会長・表彰審査会委員長) 2023年度から新体制に移行するに当たり、理事の視点、協会事業に精通している者の視点を一定程度残しつつ、委員構成としては現役理事でない会員の割合をふやすため、加筆修正を行った。 →一部修正を前提として承認

7. 表彰等について

1) 2023年度名誉会員表彰候補者の推薦について(香山副会長・事務局長) 山根寛氏(会員番号993番)を当理事会として推薦し、名誉会員として承認し表彰する件を、2023年度定時社員総会に上程する。 →承認

2) 2023年度特別表彰の決定について(山本副会長・表彰審査会委員長) 2023年度の特別表彰対象者を兵庫県の大庭潤平氏に決定する。 →承認

3) 次回叙勲推薦候補者の選定について(中村会長) 次回の叙勲候補者として、谷合義旦氏を推薦する。 →承認

8. 会員の倫理問題事案について(太田倫理委員長) 昨年10月に傷害事件を起こした会員を譴責処分とする。 →承認

9. 学会について

1) 第57回日本作業療法学会の開催形態と予算について(長尾(徹)副学会長) アンケート結果を踏まえ、第56回と同様の現地開催とWeb開催のハイブリッド形式とする。4,135人の参加を見積もり、現時点では10万円程度の黒字予算を見込んでいる。 →承認

2) 第59回日本作業療法学会の学会長の選任について(村井常務理事・学術部副部長) 新潟医療福祉大学の能登真一氏を学会長として推薦する。 →承認

10. 機関誌『日本作業療法士協会誌』広告掲載について(関本常務理事・広報部長) 1) 機関誌に商業広告を掲載する。2) 商業広告の広告料を設定する。また、作業療法士求人広告及び医療福祉チャンネルの広告料を改定する。 →継続審議(再提出)

11. 在宅ケアもの・こと・思い研究所への対応について（森田在宅ケアもの・こと・思い研究所事務局長） 在宅ケアもの・こと・思い研究所が休眠するに当たり、以下3点についてお願いしたい。①休眠中の届け出上の住所の使用。②保存書類の保存場所の提供。③福祉用具等の開発に関する対面相談の場所の提供。 →承認（ただし、登記などの法律上の問題がないこと、住所を貸すことについては貸し主の了解を得ることを条件とする）

12. 臨時理事会の招集について（香山副会長・事務局長） 理事会が設置すべき委員会等及びその規程を審議するため、3月18日に予定されていた常務理事会にかえて、臨時理事会を開催する。 →承認（ただし、日時を再調整する）

13. その他

Ⅲ. 審議事項

1. 理事会が設置すべきと提案された委員会等及びその規程案について（香山副会長・事務局長） 持ち帰って提案を精査していただき、可能なもの、優先的に必要なものから3月の臨時理事会で決議したい。

2. その他

以上